

## 溶解性ワニス除去用装置

# SVR Soluble Varnish Removal

世界各地で 潤滑油のワニス生成防止に使用されています

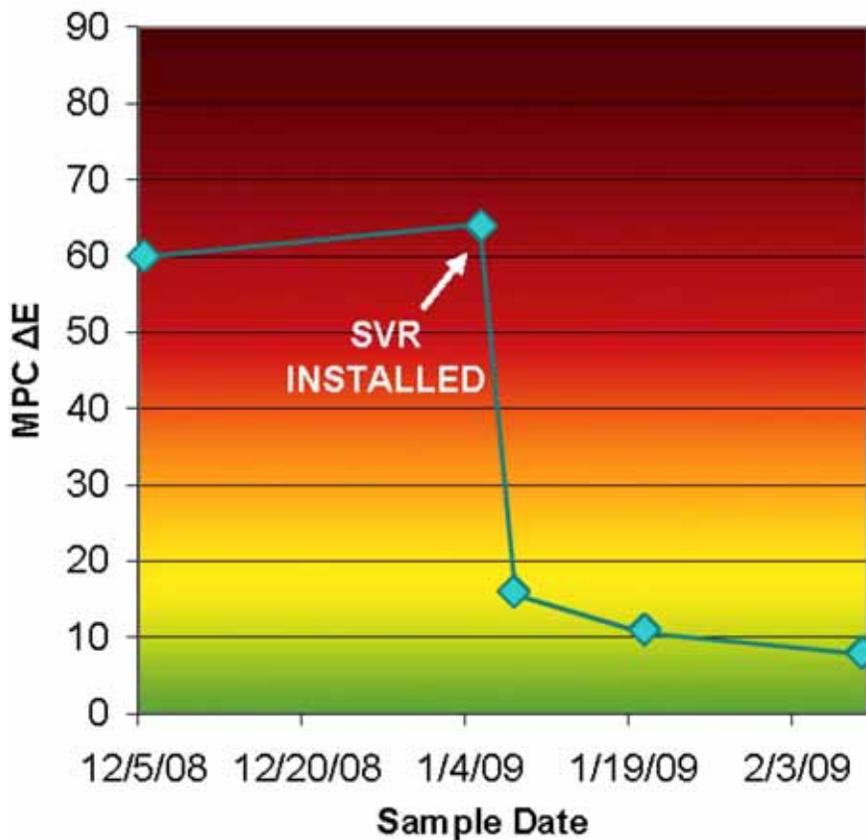
### SVRの特徴

- 特許出願中のICB™浄化技術によって、タービン油の添加剤に影響を及ぼすことなく、油中に溶解しているワニス汚染物質を除去します。この技術は、世界各地で長年にわたり実績を積んだイオン交換樹脂をベースにしています。
- 油タンクのバイパスラインにいつでも設置可能
- ワニス低減量はMPC(膜パッチ比色分析…ワニスを計測するテスト手法) やQSAテスト(定量分光光度分析)で測定して確認することができます。
- タービン運転中に油中に溶解しているワニスを除去するため、油温低下時に析出・沈着するワニスを減少させます。
- 沈着したワニスも除去します。
- サーボバルブのスティックを予防
- ISOコード(微粒子数の等級)を低減
- 油の色相・透明度を回復
- 設置面積が小さく、シンプルな配管
- ICBフィルターはメンテナンス時に毎年交換推奨
- 管理に手間がかからず、スイッチを入れて動かすだけ!



※製品の外観等に変更される場合があります。

製品	品番	備考
SVR	仕様については、別途お問合せ下さい。	
消耗品	ICBフィルター	600524 ベッセルにはフィルターを2個使用しています。在庫を2個用意しておくことを推奨します
	メカニカルフィルター	600699 3μ β 値 200, 微細ガラス粒子エレメント ベッセルにはフィルターを1個使用しています。在庫を4個用意しておくことを推奨します。
消耗品の交換頻度：浄油中:1,000時間毎、維持管理中:使用後8,000時間		



### 性能に影響を及ぼす要因

- ご覧の通り、ワニス除去装置 SVRを使用することでMPC値は非常に早く減少します。上記の例では、ワニスは、およそ1ヶ月で危機的なレベルから良好な状態へと低減されました。システムに沈着したワニス再び油に溶け出してSVRで除去できるように、その後もSVRを設置したままにしておくことが重要です。多くの場合、MPC値は急激に減少した後、若干増加します。これはシステムに沈着したワニスが再び油中に溶け出しているサインです。既にシステムにワニス沈着している場合、浄油の初期段階ではMPC値が上昇、減少を繰り返しますので、そのことに留意して、MPCテストを毎週行うことを推奨します。
- ワニス除去に最適な状況は、同じ種類・メーカーの油からワニス沈着物が生成されているときです。潤滑油の化学構造が同じであれば、ワニス生成されても元に戻る事が出来るからです。もし使用中の潤滑油の種類を変更する場合は、油を交換する前に、使用中の油をSVRで浄油することをお勧めします。
- 異種油を混合している場合は、基油と添加剤の相性が良くないので、MPC値が通常より高くなる傾向にあります。



株式会社 プラントサービス

〒650-0031 神戸市中央区東町116- 2

TEL:078(334)0211

FAX:078(334)0210

E-Mail: service@aps-jp.com